

中堅期保健師研修2年目の評価(2) —上司FGI分析からみた組織力の向上—



谷村千里¹⁾、兵頭昌子²⁾、入野了士³⁾、吉川多賀子⁴⁾、岡田一代⁵⁾
高田美紀⁶⁾、横井百合⁷⁾、清家珠子⁷⁾、佐藤伸子⁷⁾、野村美千江³⁾ 愛媛県イメージアップキャラクターみきゃん
1) 愛媛県宇和島保健所、2) 愛媛県心と体の健康センター、3) 愛媛県立医療技術大学、4) 西予市健康づくり推進課、
5) 宇和島市高齢者福祉課、6) 松山市子ども総合相談センター事務所、7) 愛媛県医療対策課

目的 OJTとOff-JTの連動を強化した中堅期保健師研修が職場に与えた影響を評価する → **研修受講生の上司10人にフォーカス・グループ・インタビュー**

方法

時期：愛媛県主催「平成26年度中堅期保健師スキルアップ研修」
受講最終日（平成26年12月）
時間：50分程度
対象：研修受講生の上司10名（市町8名、県2名），3～4人を1組
（上司の職位：主幹・課長補佐2名，係長・係長相当級8名）
*うち3人は昨年度も参加
*研修参加に際しては職場が推薦書を提出すること、また、上司が受講生の相談に応じる、関係機関を紹介する、一緒に訪問するなど職場と研修との調整を担うこととしていた。
インタビュー内容：研修に派遣した意図、期待した効果、受講者や職場の変化、研修に係る負担など
データの分析：インタビュー内容から逐語録を作成し、研究グループで質的帰納的に分析

結果

分析対象データ数：122
分類の視点：上司が捉えた研修の成果・職場への影響・人材育成に関すること

大カテゴリー（6）	中カテゴリー（14）	素データ（一部）
組織や地域を動かすリーダーとしての力量を高めてほしい	組織のリーダーとしての力をつけてほしい 事業化・施策化・予算化・地域づくりを推進する力を身につけてほしい タイムマネジメント力をつけてほしい	後を託せる人を作っていないといけない 自分から先入観を持たずに地域を見ようというふうに関わってくれたらいい それぞれの役割を見極めてコーディネートする
励まし・相談・調整手助け・同行訪問など様々な形で支援する	主体的に取り組む受講生の努力が大きい 職場で見守り、声かけすることで、受講生の負担軽減を図る	進捗状況を確認してあげたらよかった 逐一声かけはしていた みんなが自分の課題として取り組むって いうところがあった
中堅期保健師の変化に研修成果を見出す	中堅期としてのやる気と自覚が芽生えたことが嬉しい 積極性や説明力、周囲を巻き込む力の向上が目に見える	いろいろと俯瞰して見られるようになった 中堅期として自分らやっていくんだという 自覚っていうものができた 受講生本人がみんなを取りまとめていく っていうところは見えていた
組織内の相互理解が進み課題解決力が向上する	組織の課題解決に役立つ 前向きさが波及してコミュニケーションが活性化 組織全体の機運が盛り上がる	他のスタッフにもいいような形でいろんな いい影響を与えた 全体的にモチベーションアップできた 事前にちゃんと読み込んで意見も持って 集まれば、短い時間で意見交換できる
専門性を高める機会や人材育成のあり方を考える	上司として人材育成のスタンスを再考する 職場の支援体制を意図的に作る	専門性を高めあう機会の中には、同じ人 ただじゃダメなんだな ちょっとした話ができるっていう、それが要 のかな
研修修了者が受講生や組織にもたらす影響がプラスに働く	研修修了者が受講生のよき理解者となり、タイムマネジメントを促す 継続受講により研修プログラムに対する職場の理解が促進された	みんなで巻き込んでいこうっていうのはお互い 了解だった 前回は支援していた中堅期のメンバー たちがバックアップしていた いい相談役、特別な存在だった

考察(職場への影響)

○効果的OJTの展開：受講生・上司ともにOff-JTの意図やプログラムの理解が進んだことが、**受講生の積極性や説明力、周囲を巻き込む力の強化や、組織力の向上に寄与**

○研修修了者の存在：自組織の中で**相談役として、タイムマネジメントや協力体制づくりなどをアシスト**

○組織内外に示す統括保健師の存在・力量：研修修了者が自組織にいない場合には他組織への情報収集、自組織の人材育成を考慮した受講生の選定、関係機関との調整の手助け、検討の場の確保など**OJTをマネジメント**

課題

研修プログラムやOJTの中で研修修了者の活用を位置づける

管理職としての力量
アップにつながる